

# 令和6年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2025.01.16(木)

事業コード	24-G-09	学校名	山縣市立大桑・桜尾・梅原小学校		住所	山縣市伊佐美726番地
実施日	11月14日(水)9:30～11:45			受講児童生徒数	87名(4年生13名/5年生13名/6年生32名)	
開講職種数	6職種	指導者数	10名	参観保護者数	23名	

## 学校アンケートの結果

1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→

・普段児童が見聞きすることがない仕事について触れる機会があることは、とても貴重な経験となった。  
 ・講話や活動内容も4～6年生の発達段階に合っており、興味を持つきっかけとなった。(大桑小学校)  
 ・普段触ることがない工具をどきどきした表情で触っていたり、銅板が自分の力でどんどん変わっていったり、300℃のはんだごてに800℃の電気窯があったり、児童にとっては、知らない不思議なものがたくさんあった。そこに、職人さんの技が加わると、ものすごい物ができあがるのを見て、職人さんのすごさをまじまじと感じる貴重な授業になった。本事業のような本物の職人さんの技を見せてもらったり、物作りのすごさや楽しさを実感できる機会を増やしていくことが、手に職をつける1つのきっかけとなると思う。(桜尾小学校)  
 ・技能者になろうと思うには、たくさんの職種があることに気づき、体験することができるよ。今回のような体験が重要だと思う。  
 ・技能者に「生き様」を語ってもらうことで、学力だけではなく、自分に自信をもつ姿、人に誇れるものを持つことの良さを感じることができた。  
 ・自分の信念を貫く強さ、夢にひたむきに向かう努力を感じさせたい。そのためには、このような技能者と直接関わる機会をいただけたことが良かった。  
 ・この1回をスタートとして、今後のキャリア教育として各学校で繋げていけると良いと思った。(梅原小学校)

## 会場担当教員アンケートの結果（6会場の先生）

1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

①大変よく伝わった

→

②ある程度伝わった

→

③あまり伝わらなかった

→

④全く伝わらなかった

→

2 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください

→

・実際に仕事をされている方の話を聞いたり、自分が体験したりする機会はあまりないため、その仕事に就いたきっかけを知ったり、楽しく活動する中で専門的な技能に触れたりすることは、重要だと考えます。(電子機器組立て会場)  
 ・教員が学校以外の職業について知っていることは、あまり多くありません。専門の方からお話を聞いたり、実際にその仕事風景を見たりする機会は、子どもたちが技能者を目指すにあたって大変重要だと考えます。(菓子製造会場)  
 ・児童にとって、身近でない職業に触れる貴重な機会となった。例えば幼稚園の先生やケーキ屋さん、児童にとって身近であり、職業選択の選択肢になり得るが、知らない職業だと、選択肢として持つことができにくい。今回のような体験授業が職業観を拓いていくものとする。(かわらぶき会場)  
 ・教員が教員以外の仕事について子ども達に教えられることは少なく、本や映像など外からの情報に頼ることになってしまう。今回のように、専門の方から直接お話を聞いたり技術を見たり、仕事にかかる思いなどその方の内からの情報を得ることは、子ども達が技能者を目指すにあたってとても有効だと感じた。(貴金属装身具製作会場)  
 ・教員が学校以外の職業について知っていることはあまり多くないので、学校で専門的な事を教えることが難しい。今回のような専門の方のお話を聞いたり、実際に体験したりする機会は、子どもたちが技能者を目指すにあたって大変重要だと考える。(建築板金会場)  
 ・今回の活動で、花にあまり興味がなかった児童も、「やってみると面白い。またやりたい。」という感想を持っていたこともあり、仕事の名前は知っていても、「どんなことをするのかあまり分からない」ということが多いので、知る・実際に体験するなどの機会が増えることが、選択肢を増やすことに繋がると思う。(フラワー装飾会場)

## 指導者アンケートの結果（6職種の各代表）

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- ②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった
- ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
- ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

6

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・この事業は、地域フェスティバルで見かけるような30分程度のものづくり体験と異なり、マイスター資格を持った経験豊かな方が職業経験と共に120分ほどの持ち時間でものづくり体験を行う事業。マイスターも、それぞれ子どもたちに技術を伝えたい、ものづくりの楽しさを知っていただきたいと、熱い思いで事業準備を進めています。大変有意義な事業です。

小中学校で10人～20人の生徒が同時に作業体験を行うためには、数人のグループを編成して行うにしても、ある程度数の同一工具、補助具が必要となります。技能作業者は「良い工具・適正な工具を使わないと良い製品は出来ない」が鉄則であり、どの事業担当者も工具・補助具を準備するのに大変です。特に電子機器組立ては管理された工具・補助具（小学校設備の一般工具は利用できない）が必要です。

この事業を今後継続させるためにも、初期投資としての工具・補助具の予算化をお願いします。（電子機器組立て職種）

・子どもたちが「ものづくり」の仕事を知ることが問題である。初めは何も知らず遊び半分の子どもたちが体験授業が終わる頃には目を輝かせている光景を見ました。子どもたちは「ものづくり」の楽しさを知ったのではないかと思います。これからも、もっとたくさんの子どもたちに知ってもらいたいと思います。また、近頃円安と物価高の影響で材料費が値上がっています。少し考えていただけるとありがたいです。（菓子製造職種）

・今回の体験授業は4・5年生で、児童生徒は講話など真剣に聞いていただきました。また、瓦並べ・瓦割りには大変興味を持ち、夢中で体験をしていただきました。

今回は4・5年生でしたが、2・3年生の児童生徒にも瓦・道具を触るだけになるとは思います。体験授業が出来ると良いなと思います。（かわらぶき職種）

・様々な職種の現場の話や実技体験を、自分の学校内で体験できる貴重な授業だと思います。ものづくり日本の根底を支える現場の職人の仕事が「どんなものなのか？」を小・中学生のうちに授業の一環として学ぶ・触れ合うことは、将来のものづくり日本を支えるためにも重要だと思いますし、自分の子供にも是非こうした体験をさせたいと考えています。（貴金属装身具製作職種）

・小学生の体験授業は、人材育成の観点から非常に重要だと思います。提供している材料も価格高騰しているので、値上げも検討してほしいです。

より多くの小学生に機会を提供し、ものづくり分野への関心を高めるために積極的に取り組んで欲しいです。（建築板金職種）

・合同授業の場合、他校の児童（今回は大桑・梅原小学校）との緊張をほぐし、馴染んでもらう。そして笑顔が授業の始めから出るようにすることが今後の課題となりました。（フラワー職種）

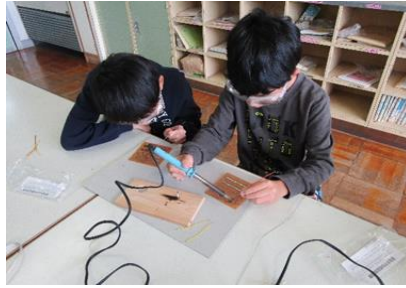
## 会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

		電子機器組立て	菓子製造	かわらぶき	貴金属装身具製作
指導者数		1	1	4	1
受講児童生徒数		15	15	14	15
回答	とても満足した	11	15	12	13
	ある程度満足した	3	0	1	2
	あまり満足できなかった	1	0	0	0
	満足できなかった	0	0	1	0
	合計	15	15	14	15

		建築板金	フラワー装飾	合計(左:人 右:%)	
指導者数		2	1	10	
受講児童生徒数		14	14	87	
回答	とても満足した	14	10	75	86.2
	ある程度満足した	0	3	9	10.3
	あまり満足できなかった	0	1	2	2.3
	満足できなかった	0	0	1	1.1
	合計	14	14	87	100

## 電子機器組立て会場の様子



### 先生の感想

- ・豆電球では電極の向きは関係ないが、LEDライトには向きがあることを知り驚いた。
- ・はんだ付けの仕方や組み立て方を丁寧に教えてくださり、全員が完成させることができた。
- ・児童にとって初めてのはんだ付けで、なかなか上手にできないこともあったが、最後までやりきり楽しさを感じているようだった。
- ・電子機器の説明と、それに興味をもち仕事についたというお話から、電子機器について学んだり興味をもったりするきっかけになっていた。
- ・聞きやすく、児童が興味をもって聞けるような話し方で、講話から実演、体験活動と最後まで集中して活動することができました。話や実演の中で、繰り返しはんだの使い方や、危険性について説明していただき、楽しみながらも安全に気を付けて活動しており、話の仕方や活動への切り替えの仕方など、大変勉強になりました。

### 児童生徒の感想

- ・モーターとニクロム線をはんだで溶かして付ける作業が楽しかった。
- ・初めて知ったことがたくさんあって勉強になった。講師の方がとても分かりやすく説明して下さった。
- ・講話を聞いたりハンダ付けを練習して、風力発電機ができるというのは良かった。
- ・僕は個人的にあまり満足ではなかったけど、とても良い体験ができたので良かった。
- ・なんでその仕事に就いたか理由を聞きましたが、印象に残るほどカッコいいなと思った。
- ・実際に体験することで興味がわいた。楽しかった。
- ・プロペラが回ったときに、速く回ったのでカッコよかった。
- ・ハンダを温めると溶けて、冷めると固まるのが印象に残った。暗くなると光るLEDも作ってみたい。
- ・電池で電子サイコロのLEDがランダムに光っていたのすごかった。
- ・風力発電機の他にLEDを使った工作をしてみたい。
- ・ハンダ付けは今日初めて知って、とても楽しくて、ある程度はできるようになった。



## 菓子製造会場の様子



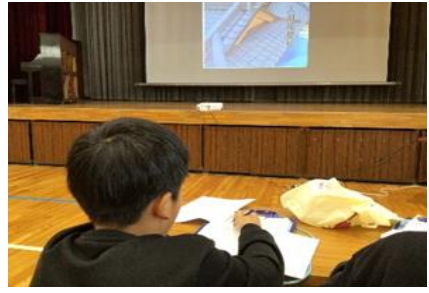
### 先生の感想

- ・あんの扱いは思った以上に難しく、悪戦苦闘する様子も見られたが、分かりやすい説明とサポートをいただいたおかげで、どの子も練り切りを完成させることができ、達成感を味わうことができた。
- ・最初「あんこは嫌いだから、作っても自分では食べない」と言っていた児童も、自分で作ることで、完成後は「帰ったらお茶を入れて食べる。早く食べたい。」と言っていた。活動を通して、食に対する嬉しい意識の変化が見られた。
- ・見本で作ってくださるものと自分の作ったものを比べ、その技術の高さに憧れを抱いていた。
- ・職業講話及び質疑応答では、自身が家業の和菓子屋を継ぐために京都で10年修行されたお話や、季節や目的に合わせたお菓子作りを行っているというお話などから、進路選択をする際には「どのようになりたいか」という目標やそれに向かうためにできることや、やるべきことは何かを考えるなど、「自分」の思いが重要であることを子どもたちは感じ取ったと思われる。
- ・分かりやすく、また子どもたちの興味を引きつけるお話で、最後まで集中して取り組むことができました。職人さんの説明の仕方が簡潔で、黒板にも手順を書いておいてくださったことで、子どもたちも次にやることを意識しやすくなっており、教員としても大変参考になるものでした。また、今回は生菓子と干菓子のどちらも製作し、その後干菓子はなぜ長持ちするのかといったことについても、体験した後に説明があったことで、子どもたちにより理解しやすかったと思います。説明をする際の順番や実演等、自分の指導も見直していきたいです。

### 児童生徒の感想

- ・あんを包むのが難しかった。最後におまけで枝豆を作れたのが嬉しかった。
- ・優しく教えてくれたので上手に作れたし、最後におまけで枝豆のお菓子を作らせてもらったのでとても楽しかった。
- ・和菓子の仕事に就こうと思ったとき、京都で10年も修行していてすごいと思った。それに30年間も仕事を続けているのとか、数え切れないほどの種類の和菓子を作っているのにびっくりした。
- ・作り方が分かりやすかったし、水をつけてやらないとくっつくということが初めて知れてすごいと思った。
- ・包むのが難しかったから、職人さんはすごいと思った。
- ・すごく難しかったけど、グループの人の中では1番うまくできた。材料の分量は同じだから見た目の問題だなと思った。とにかく楽しかった。
- ・和菓子はどうやって作るのか気になって、菓子製造を希望した。和菓子を作るためには、とても工夫が必要なことを知ってとても勉強になりました。
- ・今日はプロの技を見て嬉しかったし、実際に体験できて良かった。将来のことに繋がりたいと思った。
- ・こしあんを餅で丸めているのがすごく上手で、説明も上手だったので分かりやすかった。
- ・河田さんが素早くいねいに和菓子を作っていて、さすがだなと思った。
- ・ねりきり作りで自分の好きな色・好きな形に作れて楽しかった。あんこ以外の和菓子も作ってみたい。
- ・今日教えてもらった河田さんは、職人歴30年もあったので、とても慣れた手つきでカッコいいなと思った。お店では数え切れないほどの和菓子を作っているのがすごいなと思った。
- ・和菓子を食べたり、作ったりすることはあまりなかったけど、柿や菊の花の和菓子やおまけで枝豆も作られてとても楽しかった。帰って早く食べたいし、他のお菓子も作ってみたい。

## かわらぶき会場の様子



### 先生の感想

・職業講話: 将来の夢をまだもっていない児童が多いという実態があるので、職人さん方のお声を生で聞かせていただくことができ、子どもたちの参考になったと感じる。やりがいを伺ったときに、「自分が瓦葺きをした家がずっとあることが誇りです」と話していただき、「働くことは、生きるためにお金を稼ぐこと」というイメージを持っている児童にとって、将来への希望を感じられる内容だったと感じた。また、「図面通りにぴたっと仕上がったときに、とても気持ちいいです」とお話しいただき、腕を磨くことのかっこよさを垣間見ることができ、努力をすることの大切さを学ばせていただいた。

#### ・体験教室:

瓦葺き→電気工具を使つての作業が、児童たちにとって新鮮な体験のようだった。職人さんが、ほんの数回金づちを打ち付けただけで釘が入りきるのを見た児童たちが、自分たちが行つると全然違うことを目の当たりにし、職人さんの技のすごさを感じていた。

瓦わり→力試しのために瓦わりをするのだと思っていた児童が多かったが、「屋根を指定の広さに仕上げるために瓦を割る」と教えていただき、驚いた様子だった。瓦葺きと同様、児童自身がやってみることで、その難しさを実感でき、職人さんへの尊敬の気持ちが膨らんだように感じた。

・本物に触れながらも、児童にとって難しすぎない体験活動をご用意いただき、意欲的に取り組むことができ、ありがたかった。

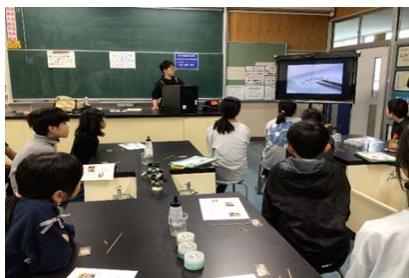
普段手にしない工具やその使い方・役割を、子ども達は実際に使ってみることで理解していった。何物にも代えがたい体験という大きなお土産をいただきました。

### 児童生徒の感想

- ・実際にやり方をやってもらって、自分でやっていくときも教えてくれて分かりやすかった。
- ・みんなで協力して家の屋根を作ってみたかった。
- ・約1400年前の飛鳥時代から瓦を使っていると聞いてびっくりした。
- ・瓦割りをやっていると実際に働いているみたいで、とても楽しかった。
- ・瓦割りでは、結構まっすぐに割るのが難しかった。
- ・お話の時に、瓦は主に4ヶ所の地方で作られるということを初めて知った。
- ・屋根に瓦を付ける時に、ネジと釘の2種類の方法を体験できて良かった。
- ・瓦を割るのが硬くて難しかったので、職人はすごいと思った。
- ・瓦割りを見たときは簡単そうだったけど、やってみると意外と難しかったのでびっくりした。



## 貴金属装身具製作会場の様子



### 先生の感想

・簡単に自己紹介を終え、「どんなことをしているか、動画を観てもらいますね」とジュエリー制作についての映像を観せながら、仕事の内容やこだわって取り組んでみえることを話された。貴金属装身具製作、七宝焼き、と聞いてどんな職業かどんな物が想像もついていた子ども達から感嘆の声が上がり、ぐっと引き込まれたのが分かった。

・釉薬は焼く時間や焼く温度によって色が違って来る。今日作る作品は、世界で一つだけの物になる。テーブルを回りながら、「丁寧に載せてるね」「いいね」など、子ども達が「これでいいんだ」と安心して製作ができるような声かけをしてみえた。教育活動内でも、子ども達が安心して自信を持って活動できるような声かけを大切にしたい。

・作品を800度で焼く窯にふっと近づいた子がいたときに、終始やわらかい雰囲気の中「熱いからね、近づかないよ」と少しだけ語気を強めて声をかけられた。安全指導を毅然と行うことは教育活動でも同様に大切である。

・作品を焼いている時間を使って、ジュエリー制作の仕事に就いた理由や仕事に対するスイッチが入ったきっかけを話された。ちょうど焼き上がる時間でお話をされ、最後の片付けも子ども達でできることは上手に指示されて、時間配分が素晴らしく、見習いたい。

・この仕事に就いた理由や仕事に対するスイッチが入ったきっかけを話して下さる中で、「始めは消去法で選んだ」とお聞きし、子ども達も少し驚いたようだった。『何かしら仕事に就くと思うけれど、いろんな事情で転職することもある。でも、すぐに転職しては、きっかけとなる場面に出会えず、結果として損をすることもかもしれない。だから頑張ることも大事に』というメッセージをいただいた。子ども達を「頑張れ」「進め」だけで押していくのではなく、時には少し力を抜くことがあってもいい、今でも頑張っている、うまくいなくても頑張った過程がある、といった視点を持って指導していきたいと感じた。

### 児童生徒の感想

・指輪を見て、普段はそんなにじっくりと見ないけど、今回はじっくり見たから、細かいところの装飾も見れた。よくお母さんが付けている指輪も一度じっくり見てみたいと思った。

・唯一無二の作品を作れたので良かった。だけど、形とか色は選びたかったなと思った。

・粉みたいな材料を焼くとガラスのようになったのがすごいと思った。今回は葉っぱだったけど、他にも色々な形や色々な色のものを作りたいと思った。

・指輪を作る動画を見たとき、すごく細かい作業だったのでびっくりした。

・出来上がった葉っぱブローチの色がきれいで、嬉しい気持ちになった。

・膨らみすぎないようにガラスの粉を乗せる作業が難しかった。

・鋼は温めてから冷やすと硬くなるけど、金属は冷やすとやわらかくなるのが印象に残った。完成して手に取ったときが一番ワクワクした。

・竹中さんは、こんなに難しい物をほぼ毎日作っていることにびっくりした。

・僕は、こんなにものすごいものを初めて見てびっくりした。また、他のものもやってみたい。

・初めて貴金属の体験をして、楽しく出来たから良かった。特に色を乗せたりするのが楽しかった。焼いて出来上がったものもきれいですごかった。

## 建築板金会場の様子



### 先生の感想

- ・授業前は、板金の仕事について知らなかった児童達が、雨風から家を守るすごい仕事であり、職人さんの技術や仕事に対する想いを間近で感じたことで、板金に興味をもった！という児童がたくさんいた。
- ・製作では、職人さんが、必ず守る約束として、「好きなように作ろう！」という言葉をかけていただいた。間違いはなく、思いのまま作って良いという言葉が、児童達の不安を取り除き、楽しく意欲的に製作する姿につながったと感じている。学校生活の中で、間違いや失敗を恐れてなかなか最初の一步を踏み出せない児童を見かけることがあるが、間違いはない。好きなようにやればいい。という言葉がけは、教育活動においても大事にしていきたいことだと感じた。
- ・また、道具は色々な使い方ができることを教えていただいた。今回、ボールペンや、裁縫道具であるへらなどさまざまな物も道具として登場した。道具の使い方は一つではないという発想も、児童にとって、新鮮なものだったと感じた。
- ・途中、銅板に穴があいてしまった児童が、どうしたら良いか困っていたが、職人さんが、いとも簡単に対応して穴を閉じていただいたことで、職人さんの技術の高さに驚いた児童の姿があった。
- ・授業の中で、職人さんに「すごいね！」「いいね！」という言葉がたくさんかけていただいたため、自信をもって製作活動ができた。
- ・分かりやすく、児童の興味を引きつけるお話で、最後まで集中して取り組むことができた。児童達を見ていて、不安そうな顔や困った顔をしている姿が全く見られなかったのは、職人さんの言葉がけによるものだと感じていて教員としてもこれから大切にしていきたいし、大変参考になるものだった。

### 児童生徒の感想

- ・銅板で鶴が作れるなんて思ってもみなかったので、すごいと思った。
- ・銅板をキャラクターの形にするのがすごかったので印象に残った。
- ・銅板を上手く膨らませることができたから良かった。
- ・建築板金の実演を早く・きれいに作業していて、何が出来るのか楽しみで、考えながら見る人をワクワクさせていたのですごいなと思った。
- ・お手本のように上手にはできなくて、裏から表へ膨らませるのが大変だったけど、楽しかった。
- ・でこぼこを意識して、裏から叩いたりこすったりして作ったのが楽しかった。
- ・失敗するかもしれないし、腕が疲れるから時間内に出来るか分からなかったけど、時間内にキレイに出来たので良かった。
- ・信田さんの説明が分かりやすかったし、面白かった。
- ・銅板を叩くのが難しかった。今度は鶴を作ってみたい。



## フラワー装飾会場の様子



### 先生の感想

- ・生け花やアレンジメントの講師や会場装飾などの仕事内容だけでなく、ボランティア活動を行っていることなど、様々な活動があることを知る機会になった。また、色々な写真を準備していただけたことで、話が分かりやすかった。
- ・アレンジメントに使用する花を自分で選んだことで、自分のオリジナル作品に愛着がわいた様子であった。
- ・切り花の名前の紹介や季節の植物についての話があり、児童にとって身近な関わりのもつなげて話をしていただけるところがよかった。
- ・講話では、たくさんの写真を準備していただいたことで、仕事のイメージが湧きやすく、分かりやすかった。
- ・活動では、児童の進み具合に合わせて活動を展開していただけたところがよかった。時間の見通しも随時示してあると、より分かりやすいと思う。児童一人一人に声をかけていただきながら、活動が進められた。
- ・リボン飾り作りは難しく、講師の先生ができない児童を心配してみえたが、「プロの技ってすごい」と思う、良い機会になったと思う。

### 児童生徒の感想

- ・技能検定の3級・2級・1級の人の作品を写真で見ても、3級もすごいけど1級はもっとすごくて驚いた。
- ・リボン作りがとても大変だったけど、花の方は上手にできて楽しかった。
- ・フラワー装飾では、様々な場面で活躍していることが分かってすごいなと思った。私は、場面ごとにどんな花を使うのか、詳しく聞きたいと思った。それにフラワー装飾には試験があることも分かった。
- ・最後に作ったリボンが難しく、大変だった。それでも最後に自分で作ったので良かった。それに、バラなどの花を生けるのが人生で初なので楽しかったし、すごく勉強になった。
- ・花の入れ方、入れる順番などが印象に残った。フラワー装飾はとてもきれいに作れたから良かったけど、もう少し何か工夫をしたかった。
- ・最初はちょっと寂しいけど、どんどん足していくうちにきれいになっていくのが面白かった。
- ・先生のお話を聞いて、フラワー装飾の仕事が会場装飾や、アレンジメント講師など、他にもまだまだたくさんあることを初めて知った。また、フラワーアレンジメントの中に「フラワー装飾技能検定」というものがあることも初めて知った。
- ・ものづくり体験の中で、「フラワー装飾」が一番楽しかった。なぜかというと、始めフラワーアレンジメントについては興味があまり無かったけど、作り始めていったら夢中になっていったから。
- ・今日やったフラワー装飾をしたりするような職業に将来就きたい。
- ・印象に残ったのは「花の数」。「バラ」や「カーネーション」などの花があり、きれいに飾れたので嬉しかった。
- ・花を装飾するのは楽しかったけど、最後にやったリボンを作るのは難しかった。